



町長日誌 No.101

町長日誌の第101号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

1月22日(日) PM1:00

今年初めての町長日誌です。今年も宜しくお祈りします。この日誌も平成15年9月号に初めて掲載してから、早いもので今年新年号では100回目となりました。今回からまた1回目と思い、初心に戻り町政の話題や私の行動など様々な情報を解りやすくお伝えしたいと考えていますので宜しくお祈りします。また、町民皆様からのお手紙やメールにもこの紙面でお答えしたいと思っていますので、お気軽にお寄せください。

平成24年辰年、雪が多く、気温の低い冬らしい冬と思います。プロ野球の世界はこの季節「ストーブリーグ」と言われ選手の移籍などの話題に花が咲くものですが、今年は何と言っても日本ハムのダルビッシュ有投手が破格の契約金と条件でアメリカ大リーグ入りを決めましたが、北海道のチームから世界一の入団条件と言っても過言でない選手が生まれたことに、道民はもっと胸を張るべきで、高橋知事が声明を発表しても良いぐらいのことだと私は思うのですが？

1月6日(金)

今日は仕事始めです。職員への訓示、消防団出初め式と行事が続きましたが、午後には、紋別市長が兼務していました紋別広域病院(旧道立病院)の企業長に就任された千賀孝治医師が挨拶のため来庁されました。「企業長」と言うのは社長に等しく広域病院の総責任者です。今後、千賀企業長が医師確保の先頭に立ち経営改革に取り組まれるのですが、昨年4月スタート時の常勤医師14名が現在12名で、さらに今年3月には退職される医師と泌尿器科などの派遣医師の引き上げも心配されています。病院移管の協議時点では、広域病院の充実に期待するところが大きかったのですが現実には困難ですので、当面興部町としては名寄市立・遠軽厚生病院を主な二次医療機関として救急対応する考えです。なお、広域病院に興部町の運営費負担があるのではないかとご心配の方も多いようですが、基本的に4町村が運営費の負担をすることはありません。

1月19日(木)

午後4時から、公民館で「自治会長さんたちと町長の懇談会」が行われました。先の16日には議会に対してお示しをされた「国保病院の改築基本構想案」を説明し意見交換をさせていただきました。様々なご意見を伺いましたが、今後1月31日は沙留、2月1日は興部で堀院長にも出席していただき意見交換会を行います。また自治会長さんからは「細かく懇談会を開催して説明と意見交換を行ってほしい！」とのご意見でしたので、2月1日以降に自治会を中心に細かく意見交換会を開催しまして、基本構想と基本計画を纏めていきたいと考えていますので、是非ご参加いただきご意見をお聞かせください。

1月20日(金)

産業振興課長と札幌に出張しました。ホクレン酪農部にお伺いしまして「生乳の道外移出」について勉強してきました。現在、東北の大震災そして酪農家の離農により本州の生乳生産は減退しています。その分、北海道の生乳の本州への直送や道内でパック詰めして本州に移送する量が年々増え続けているのですが、本州に1キロの牛乳を送るのに費用が”20円80銭”必要でこれは全て農家が負担していますので、増産してもあまり収益に繋がらない現実があるのです。説明をしていただいたホクレン近藤酪農部次長も「仕向け量が増えている生クリームへの補助金が復活すると、毎年赤字が続いている酪農家の収支改善につながるのですが、政府はうんと言わないのです。」と嘆いていました。

2月から3月にかけて来年度の加工原料乳価の補給金などが決まりますので、私も行政の立場から国に働き掛けていきたいと考えています。

現在、来年度予算案を編成していますが昨年よりやや多めの予算となりそうです。昨年はすでに警報段階に入っていましたインフルエンザも1ヶ月遅れで流行しだしています。湿度の管理と手洗いやうがい予防し楽しく冬をお過ごしください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。